

水道がうるおす 日々の健やかさ

6月1日～7日は第49回水道週間

いつも、何気なく使っている水道水。水は貴重な資源だということを忘れて、ついつい無駄使いをしてしまいがちです。水道週間は、毎年6月1日から7日までの1週間、水道について理解と関心を高めることを目的に設けられました。コップに注いだ水を見ながら「水」について考えてみませんか。

『水の大切さ』

普段私たちは、水道の蛇口をひねれば水が出るものと当たり前のように思っています。洗濯やお風呂、料理など、さまざまな使われ方をしていきます。毎日の生活に欠くことので

きないもの、それが『水』です。

しかし、地球上の水の97・5%は海水で、私たちが使える水は、わずか0・8%といわれています。水は限られた貴重な資源です。

そして、その水を安全で、安心して使えるようにしている施設が水道です。

この機会に、今一度、水の大切さや水道水の使い方を考え、節水心がけましょう。



神崎町水道事業の概要

本町の水道は、利根川を水源とする神宿浄水場と地下水を水源とする古原浄水場の2つの系統により、本町以外にも成田市及び香取市の一部に供給しています。平成17年度に毛成地区配水管布設工事が終了し、全ての地区で水道利用が可能となりました。

経営については、公営企業として民間企業と同じく独立採算制で運営することとなっています。つまり、水道事業の運営に係る費用は、主として水道料金の収入でまかなわなければなりません。



神宿浄水場

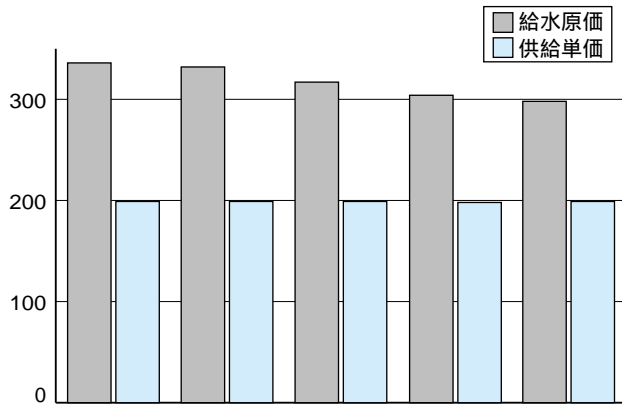
水を処理して蛇口までお届けするためには、様々な費用がかかります。具体的には浄水場施設や配水管などの維持管理、水質検査、職員の人件費などの費用です。

これらの経費を給水量で割ったものを「給水原価」と呼びます。

一方、水売って得た収益を給水量で割ったものを「供

給水原価・供給単価の推移

(単位：円)



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
給水原価	336	332	317	304	298
供給単価	199	199	199	198	199

用語の説明

給水原価... 1 m³の水道水をお客様へ供給するまでに掛かった金額
供給単価... 1 m³の水道水をお客様へ供給する金額(平均)

供給単価は、給水原価に対し廉価に設定しています。安価に供給出来るよう、町及び県から補助金(高料金対策)を受けています。

水道事業では、これまで以上に給水原価(コスト)の削減に取り組むため、集中改革プランを策定し、経営改善をすすめています。

給単価」と言います。水道料金は「供給単価」が「給水原価」と均衡するように、定期的に見直しをしておく必要があります。左表は給水原価と供給単価の推移を表したものです。

